

介護予防従事者研修会について

令和8年1月27日

令和7年度介護予防従事者研修会の実施状況について (地方局・支局開催分)

中予地方局

令和7年11月18日(火)

対象者:松山圏域の各市町介護等関係職員、地域包括支援センター職員及び居宅介護支援事業所の介護支援専門員等

テーマ:高齢者の自立支援に向けた効果的なケアプランの作成
～多様な生活支援サービス等の活用を考える～

講師:愛媛県リハビリテーション専門職協会

副会長 公原 央智 氏(理学療法士・介護支援専門員)

今治支局

令和7年11月19日(水)

対象者:今治圏域の市町介護予防関係担当職員、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所の介護支援専門員、介護予防関係のサービス提供者等

テーマ:高齢者の尊厳・QOL・社会参加に影響する「排泄コントロール」のassessmentと介護予防・自立支援に向けたケアの実践

講師:西条中央病院

老人看護専門看護師 渡部 由子 氏

八幡浜支局

令和7年10月1日(水)

対象者:管内の介護予防従事者及び施設職員
(居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション・介護老人保健施設・市町の職員等)

テーマ:フレイル予防について
～高齢者の「聞こえづらさ」への支援～

講師:愛媛大学大学院医学系研究科

地域健康システム看護学講座 達川 まどか 先生

南予地方局

令和7年12月15日(月)

対象者:介護予防等に従事する専門職(保健師、ケアマネジャー、理学療法士、介護福祉士等)

テーマ:フレイル予防～聞こえづらい高齢者への支援を考える～

講師:愛媛大学大学院医学系研究科 地域健康システム看護学講座

達川 まどか 先生

東予地方局

令和7年12月15日(月)

対象者:西条保健所・四国中央保健所管内の各市職員、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員等介護予防に従事する者等

テーマ:要介護状態へ移行する大きな契機となる「転倒予防」のための住環境整備と運動の実践

講師:西条市民病院 理学療法士 百田 雅治 氏

愛媛県介護予防従事者研修会の実施状況について (本庁開催分)

開催日:令和7年12月19日(金)10:00~15:30

※介護予防・日常生活支援総合事業担当者会と同日開催

場所:愛媛県視聴覚福祉センター 4階 多目的ホール

参加者:市町職員、地域包括支援センター職員、愛媛県介護予防市町支援検討会構成員、
その他関係者等【61名】

内容:講演①「難聴対策がもたらす介護予防と認知機能低下抑制の効果」

講師 愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科 特任教授 内田 育恵 氏

講演②「竹田市での難聴支援の取り組み」

講師 竹田市 高齢者福祉課 課長補佐 渡部 綾 氏

社会福祉法人 竹田市社会福祉協議会 竹田市地域包括支援センター 阿部 秀彬 氏

(目的)難聴高齢者支援における手引きの活用方法や他県モデル地区での具体的支援状況等を学ぶことで更なる地域包括ケアシステムの推進を図るとともに効果的な介護予防の施策の展開につなげる



3

介護予防・日常生活支援総合事業等担当者会の実施状況について

開催日:令和7年12月19日(金)13:30~15:30

※介護予防従事者研修会と同日開催

場所:愛媛県視聴覚福祉センター 4階 多目的ホール

内容:

○話題提供

【テーマ】「聞こえ」の支援が介護予防を変える!~愛媛県における言語聴覚士の挑戦~
愛媛県言語聴覚士会 副会長 岸田 晃和 氏

○グループワーク

【テーマ】① 各所属の現状と課題の共有

② 課題解決に向けた多様な主体との連携

※申込時に、意見交換をしたいテーマを選択してもらい「聞こえ支援グループ」と「総合事業グループ」に大きく分けて実施

※グループワーク後に全体発表を実施

※講師や愛媛県介護予防市町支援検討会の皆様にもグループの輪に入ってくださいました。



4

参加者の声・気づき等抜粋

○聞こえの課題を取り除くことで、認知症リスクを軽減できることは何となく理解していたが、これまでの研究結果によるエビデンスを示していただきより理解が深まりました。またリハビリ専門職が介護予防分野に在籍していることで、リハビリ職目線で事業がどんどんブラッシュアップされていった実績をご紹介いただき、職員さんの地道な努力と丁寧な関わりに感銘を受けました。

○聞こえに関することの周知が小さな集まりからだとしても必要かと気づきました。グループワークでも、いろいろな話を聞くことができとてもいい時間でした。

○介護予防に耳・聞こえが大事なことだと理解できる内容で学びがあった。今まではあまり注目されていないところであり、今後啓発する必要があると気づかされた。

○とても気になっていたため、勉強になった。各自治体の状況を知ることができたのはとても大きな成果となった。次年度以降の事業の企画など、とても参考になる内容だった。

○聞こえがテーマであったが、認知症対策としても活用でき、住民にとって必要な情報を届けられそうである。言語聴覚士でなければできないこととその他の専門職で対応できることを考え、連携できるようにしていきたいと思う。

○難聴によるフレイル予防について、来年度の通いの場での介護予防講座に取り入れようと考えているところだった。今回の講演を聞いて、「聞こえ」の問題を全面に出しただけでは当事者意識や興味を持ってもらえないことが多いため、認知症発症リスクが上がるなど高齢者の方の興味関心が高い病気に結びつけることで啓発効果に繋がるということを学んだ。そして、STでなくても講座ができるパワーポイントの資料があると知り、すべての啓発場面でリハ職さんを呼ぶことは物理的に難しいため、包括の職員でもぜひ活用させてもらいたいと思った。

5

協議内容

協議内容①

「各支局・地方局実施分における介護予防従事者研修会の必要性について」

協議内容②

「来年度における介護予防従事者研修会（本庁実施分）のテーマ設定について」

6

